

# 系

～いと～



知-ガン さわやかなあいさつ 文武両道 光る汗！  
野木町立野木中学校 学校だより  
令和6年度10月②号 文責:校長 星 育夫

実りの秋真っ只中。学校の内外ともに、毎週沢山の行事が行われています。校内では、「潤心祭」に向け学校全体が稲穂の波のように大きく動いているように感じます。

## キラリと光る読書の町宣言 10周年 ～読書のススメ～

野木町が2014年に「キラリと光る読書の町宣言」と「町民の読書活動の推進に関する条例」を全国で初めて同時に施行してから10周年を迎えました。10月5日(土)に記念式典が行われ、ベストセラー「声に出して読みたい日本語」やNHKの「日本語であそぼう」監修で有名な斎藤孝さん(明治大学教授)の講演会がありました。

IT機器やSNSが発達し活字離れが進み、1ヶ月に1冊も本を読まない人が60%を超えた現代、私たちの知性や想像力、心の豊かさが失われていくのではないかという危機感、本を読むことが人生をどれだけ豊かで厚みのあるものにするかが軽妙なテンポで熱く語られました。まるで泉のように後からあとから言葉がよどみなく湧き出てくることにただ感心するばかりでした。そして、野木町にこんな言葉も贈ってくれました。「本をたくさん読んで、心に豊かな森を育てよう！」

学校司書の直井先生や図書委員会の皆さんのお陰で野木中学校の図書室は、そこに行けば本を手にとってみたくなる素敵な空間になっています。「あの本読んだ？」という会話がさわやかな挨拶と共に交わされる光景を夢見ています。



【「おはなし給食」が下野新聞9/15で紹介されました】

## 災害時に備えて ～第4回野木町全町避難訓練・第2回野木中避難訓練～

新型コロナウイルス感染のため中断されていた全町避難訓練が10月6日(日)に実施されました。今回は大雨による河川の氾濫を想定して行われました。

8:30に本校の生徒が住んでいる地区の5カ所の避難所(町体育センター、野木中、友沼小、佐川野小、南赤塚小)が開設され、「高齢者等避難(警戒レベル3)」が発令されました。約10分後近隣の高齢の方々が徐々に体育館に集まりました。9:00に河川の水位が避難判断水位に達した想定で、「避難指示(レベル4)」が発令されると、個人や家族単位、自治会単位で続々と地域の方々が集まってきました。「緊急安全確保(レベル5)」が発令された9:30には、近隣住民の方々の避難は完了し、引き続き「避難所運営訓練」が行われました。



当日参加した野木中生も緊急時の行動について確認ができたと思います。学校としましても、生徒の災害時の避難所を改めて確認したり、近隣に住む住民の方々と直接お会いして言葉を交わしたりできる貴重な機会となりました。翌日に行った校内の避難訓練では、生徒たちに再度各自の避難所を確認しておくことと非常時には家族の一員として、また地域の一員としての行動が求められることとお話ししました。

## 思春期の心と体を知る ～1年生性教育講演会～

10月9日(水)に、1年生を対象に性に関する講演会を実施しました。講師は1学期の3年生と同様、獨協医科大学病院の助産師橋本 絢子先生です。思春期における体の変化と心について、わかりやすく温かくお話しいただきました。

「誰もが大人になる過程でとおる思春期。心や体が大人に向けて変化する今、しっかりと自分たちのことを知ってほしい。そして、私たちの体も命も尊くてかけがえがないもので、自分も自分以外の人も大切にしてほしいという思いが伝わってくれたらうれしいです。」と講演後に橋本先生がおっしゃられていました。



## 大人の学びの場 ～第4回家庭教育学級～



PTA (Parent-Teacher Association) は保護者と教員が子どもたちの健全な成長を図ることが第一の目的の社会教育団体ですが、会員同士が交流をしたり、学びを深めたりする成人教育の場でもあります。

家庭教育学級は PTA 会員のニーズに応えた研修の場が設定され、参加者は毎回和やかな雰囲気の中でふれあいながら学びを深めています。10月11日(金)に野木町煉瓦窯ホフマン館で行われた第4回の研修は、野木町家庭教育オピニオンリーダーの方々に指導いただき「手作りピザ」づくりに挑戦しました。生地作りからトッピング、石窯での焼きあげまで参加者のみなさんの笑顔があふれる活動となりました。活動をとおして新たなつながりができた方、子育てのヒントを得られた方もいるかもしれませんね。



## 祝 全日本優勝! 祝 ～男子ダブルス U-14～

10月5(土).6日(日)に広島県で開催された JOC ジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア選手権大会 U-14 ダブルスにおいて、男子ソフトテニス部2年鈴木佐禄さん・別符湊都さんペアが、全国から選抜された強豪を抑え見事頂点に立ちました。栃木県の選手の本大会での優勝は、男女全種目をとおして初めての快挙です。シングルスでも鈴木さんは3位、別符さんはベスト8という好成績を修めました。今後も活躍が期待されます。



## 校長からのメッセージ (潤心祭についてのお願い)

いよいよ明日、本校の3大行事の潤心祭が開催されます。運動会、合唱コンクール同様、保護者の皆様には、生徒たちの成長した姿をお見せする機会と考えております。しかし、最もご理解いただきたいのは、文化祭(学校行事)はパフォーマンスでなく、生徒が授業や体験で学んだことや考えたこと、思いを伝え合い、互いの取り組みの成果を認め合う学びの場だということです。生徒たちのここまでの頑張りに保護者の皆様も真剣な姿で応えていただきたく思います。(美しい歌声に私語のノイズが混じった残念な経験から)